

## 高速鉄道建物清掃業務委託（東西線）特記仕様書

### （適用）

第1条 発注者及び受注者は、この仕様書に基づきこの契約を履行しなければならない。

(2) この仕様書は、仙台市高速鉄道東西線（以下「地下鉄東西線」という。）の駅の旅客利用部分と避難階段の清掃作業及びその周辺地域の除雪作業について適用する。

### （作業体制及び作業時間等）

第2条 以下の作業体制により清掃作業従事者を配置するものとする。

業務責任者——現場責任者（副現場責任者）—— 作業従事者

(2) 日常清掃の作業時間は6時から20時までとし、受注者は当該時間中において、一般の作業従事者が必ず2名以上勤務する勤務体制をとるものとする。

(3) 定期清掃の作業時間は、特に指定のないものについては、9時から17時までの作業時間内に着手しかつ完了させればよいものとする。

(4) 清掃範囲における各駅のホーム階等の壁面清掃について、必要に応じて発注者と受注者とが協議の上、駅舎の営業時間外に作業の実施が出来るものとする。

(5) 特殊清掃の除雪作業について、早朝・深夜の積雪により除雪が必要と判断された場合は、日常清掃の作業時間に係らず除雪作業を行うこと。

### （業務責任者）

第3条 受注者は、作業着手前に、5年以上の清掃業務の経験を有する業務責任者1名を選任し、発注者に届け出なければならない。また、変更する場合もあらかじめ発注者に届け出なければならない。

(2) 業務責任者は本清掃業務委託の総括管理監督を行い発注者との連絡調整を図ると共に、別に定めるもの以外下記の業務を行うものとする。

① 作業着手前に作業の年間計画等を明記した清掃作業計画書を提出し、発注者の承認を得なければならない。

② 作業計画の立案作成、作業の履行に関する発注者及び現場責任者との連絡調整、その他作業の履行に必要な一切の業務を遅滞なく行うものとする。また、作業計画に変更が生じた場合等、速やかに発注者に連絡すること。

③ 清掃作業従事者の技術の向上及び資質の向上を目的とする定期的な教習の場を、少なくとも年2回以上の実施計画を立案作成し、実施すること。また、教習実施計画について事前に発注者へ提出するものとする。発注者は必要に応じて教習の場に立ち会うことができるものとする。

- ④定期的に現場責任者との調整会議を開催し、定期清掃及び特殊清掃の作業の月間予定表を作成し、4月実施分を除き、前月の25日まで月間予定表を提出し、発注者の承認を得なければならない。また、定期清掃の実施にあたり、清掃前の状況と清掃後の状況について写真データにまとめ、実施月の翌月10日まで発注者に提出すること。

(3)発注者は、業務責任者に対し業務の履行並びに連絡の徹底に係る指示等を行うことができる。

#### **(現場責任者)**

第4条 受注者は、作業着手前にビルクリーニング技能士の資格を有する現場責任者1名を専任し、発注者に届け出なければならない。また、変更する場合もあらかじめ発注者に届け出なければならない。

(2)受注者は、第2条第2項に定める作業時間（6時から20時まで）のうち8時間以上を勤務時間とする現場責任者を専任で配置しなければならない。

(3)現場責任者は発注者から直接清掃作業等の指示を受けた時は、適宜清掃作業従事者を指揮すると共に、その対応をしなければならない。なお、現場責任者が不在の場合には副現場責任者又は担当作業従事者に予め指示しておき対応しなければならない。

(4)現場責任者は、別に定めるもの以外下記の業務を行うものとする。

##### ①清掃作業従事者に対する指揮命令及び技術の指導等

(ア)仕様書作業要領に定める作業手順・指導内容の作成と実施

(イ)第1条の適用範囲を巡回し、一般の作業従事者に対する指揮監督及び作業指導

(ウ)教育指導の実施

##### ②作業上の履行確認等

(ア)仕様書記載事項と作業状況の調整及び履行確認

(イ)クレーム処理とその対策

(ウ)作業従事者に対する業務報告書等の作成の指示と記載された内容のチェック

##### ③清掃作業従事者の労務管理等

(ア)清掃作業従事者の勤務状況の確認と管理

##### ④清掃作業の日程調整、備品管理等

(ア)定期清掃と日常清掃の日程等の調整

(イ)清掃機械器具の管理と適正な配備

(ウ)補充品等の管理

(エ)清掃作業の立会

##### ⑤その他

①～④以外に発注者から指示された事項

(5)業務責任者より業務の履行に係る指示等が別途ある場合には、遅滞なく実行すること。

(6)現場責任者は、必ず携帯電話を携帯し発注者及び業務責任者と常時連絡をとれるようにし、作業時間外にあっても緊急の場合には発注者が業務責任者又は現場責任者いずれかと連絡をとれるように連絡先を明らかにしなければならない。

**(作業要領・箇所・回数等)**

第5条 駅舎内各室並びに鉄道用地等の清掃作業の要領・箇所・回数等は以下に定めるとおりとする。

別紙1－1「駅舎日常清掃 一日当たり作業要領（東西線）」

別紙1－2「駅舎定期清掃作業要領（東西線）」

別紙1－3「駅舎特殊清掃作業要領（東西線）」

別図1 「各駅清掃範囲図及び使用施設位置図（東西線）」

別表1 「除雪範囲表（東西線）」

(2)作業従事者が日常清掃を開始する時は、各駅に備え付ける記録用紙に開始時間等必要事項を記入し、当該駅の駅務員に作業開始の報告をしてから作業を開始すること。

また、作業が完了した時は、開始同様に記録用紙に必要事項を記入し、当該駅の駅務員に作業終了の報告と作業中に発見した施設の破損箇所など特質した事項も併せて報告すること。

(3)旅客用トイレ清掃及び点検時に男子、女子、身障者用トイレに掲示するトイレ清掃チェック表に、その都度、作業時刻及び作業員名を記入、押印すること。  
なお、チェック表は受注者が作成及び掲示し、発注者の承認を得ること。

(4)第1項に定める駅舎日常清掃の作業要領中、清掃回数が「適宜」とされている作業については、対象箇所を毎日確認し、最低でも週1回は作業を行うこと。  
また、補充品の補充等、緊急を要するものまたは逐次発注者より指示のあったものについては、速やかに対応を行うこと。なお、壁面（柱を含む。）については、随時確認し、埃や汚れがある場合は作業員の手の届く範囲で清掃等を行うこと。

(5)受注者が別紙に定める要領・箇所・回数等の作業が履行されていないと発注者が認められる事実があった場合には、発注者は受注者に対し改善指示を行うものとする。受注者は改善指示が出された場合には、速やかに作業内容を点検し、仕様書に基づく履行をしなければならない。

**(催事の対応)**

第6条 駅舎周辺で行われる催事により地下鉄利用者が著しく増える見込のある

場合は、受注者は発注者と事前に協議し、その指示に従い対応すること。

ただし、事前協議のいとまが無い場合は、受注者は臨機に対応するものとする。

#### **(シャッターの開閉)**

第7条 営業時間外（0時30分から5時15分まで）に駅舎出入口のシャッターを開閉する場合は、周辺を確認し、外部の人間が駅舎内に侵入しないよう、完全に閉じるまで絶対にその場を離れず確認すること。また、シャッター操作ボタンの蓋の施錠は必ず行うこと。

(2)複数の業者がシャッターの開閉を行う場合、原則として業者毎に責任を持ってシャッターの開閉を行うこと。

(3)他業者にシャッターを開けてもらった場合は、あとで閉める等の口約束は行わず、必ず閉めてもらってからその場を離れること。

(4)シャッターを開放したまま作業を行う場合は関係者以外が駅構内に入らないよう誘導員等を配置し、誘導員等がその場を離れる場合は代わりの誘導員等を配置してから離れること。

(5)シャッターを開放したまま営業開始時間頃（5時05分～5時30分）まで作業を行った場合は、シャッターを閉めるか開放したままでよいかどうか駅務員に確認してからその場を離れること。

(6)上記シャッターの開閉の内容について作業前に作業員全員に周知徹底を図ること。

#### **(連絡用備品の整備)**

第8条 受注者は発注者からの連絡をよりスムーズに受けるため以下の備品を備えること。

① 現場責任者用携帯電話機

② 受注者の連絡事務所にファクシミリ

#### **(ゴミ処理の方法等)**

第9条 ゴミの処理は、新・仙台市環境行動計画に基づくリサイクル推進等を重視し、別に定めるもののほか、次のとおり処理すること。

(1)資源ゴミは、別紙1－3「駅舎特殊清掃作業要領」に定める内容で処理すること。

資源ゴミは以下のとおり分別し、搬出量（kg）を記録しておくこと。

① 新聞紙

② 雑誌・雑紙

③ ダンボール

(2)一般廃棄物（営業ゴミ）の処理は、共通仕様書第17条に定める内容及び別紙1－1「駅舎日常清掃一日当たり作業要領」の「ゴミ集積庫」で示す要領で分別処理すること。

① ゴミは「可燃物」・「リサイクル（缶，ビン，ペットボトル）」に分別し処理すること。

② ゴミの搬出量（kg）について，以下のとおり分類し記録しておき，共通仕様書第 17 条第 2 項により発注者に提出すること。

ア．可燃物      イ．リサイクル（缶，ビン，ペットボトル）

③ ゴミ回収業者でゴミ搬出量の計量が難しい場合には，以下の基準で計算し搬出量（kg）とすること。

4 5 リットルゴミ袋 1 袋当り	=	6 kg
-------------------	---	------

(3) 飲料自動販売機からの空き容器は，別紙 1－3「駅舎特殊清掃作業要領」の「空き容器等回収箱清掃」で示す要領で処理すること。

① 空き容器等回収箱の内容物は，「缶・ビン・ペットボトル」，「その他（可燃物）」に分別すること。

② 「可燃物」は，「一般廃棄物（営業ゴミ）」として処理すること。

#### （作業の安全）

第 10 条 ホーム階の定期清掃作業について，運行する地下鉄列車に十分注意し，一旦作業を中止する等の危険を回避し作業を行うこと。

#### （補充用品）

第 11 条 仕様書第 8 条に定める補充品等は次のとおりとする。

補充用品	
旅客トイレ関係	トイレットペーパー，トイレットペーパーホルダーの芯，水せっけん液，女子トイレ汚物入れ，トイレ消臭薬剤，便座消毒用消毒剤 ※便座クリーナーが新設されたトイレについて、便座用消毒剤を補填する。
駅構内手すり （ホーム階・コンコース・階段）	手すり消毒用次亜塩素酸水等